

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。



発行所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表 086-271-7175
FAX 086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者 岸本清美
編集責任者 豊島始男
印刷所 西尾総合印刷株式会社
定価(郵税共) 年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

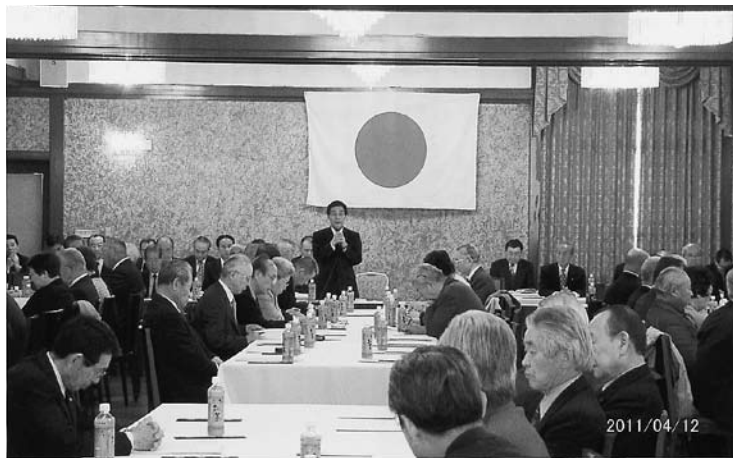
戦没者遺族の心の拠り所 九段会館の閉館決まる

日本遺族会
理事会、評議員会

日本遺族会は四月十二日(火)、九段会館において緊急の理事会、評議員会を開催し、三月十一日に発生した東日本大震災による九段会館ホールの天井落下事故の対応等について協議を行った。
会議では、事故の経過報告に続いて日本遺族会及び九段会館の今後の運営について審議し、九段会館については四月十二日付けをもって廃業することが決定された。

日本遺族会理事会は午前十時三十分から、また評議員会は同日の午後二時から行われたが、会議に先立って出席役員全員で事故現場を視察、そして、東北地方の太平洋側を中心に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々、そして九段会館ホールにおいて亡くなられたお二人に黙祷を捧げた後、審議に入った。

古賀誠会長は開会の挨拶で、亡くなられたお二人に対し哀悼の意を表すると共に、大勢の負傷者を出したことについて陳謝そして被害者に対し、今後とも誠心誠意対応して行くことを報告した。続いて事務局から、今



出席した役員に事故の対応等を説明する古賀日本遺族会会長 (4月12日：九段会館)

九段会館の運営について、出席者から「戦没者遺族の心の拠り所として、また遺族運動の拠点として長年親しまれてきた会館であり、更に職員の間でも存続の方向で検討願いたい」との意見が出されたが、昭和七年が経過していること、また、今後も東南海地震など巨大地震が発生する可能性が高いことなどの諸事情から、協議の結果、会館を廃業することとし、土地及び建物を国に返還することが決定された。

更に、公益部門の日本遺族会については、昭和二十二年の結成以来、一貫して英霊の顕彰と戦没者遺族の福祉向上に努力してきたが、内閣総理大臣の靖國神社参拝をはじめとする英霊顕彰問題や、平成二十五年の「妻

の特別給付金」平成二十七年の「特別弔慰金」の継続・増額などの遺族処遇改善運動等、多くの課題が残されていること、また、遺児による慰霊友好親善事業や遺骨収集事業も引き続き継続して事業を推進しなければならぬため、会を存続することが決定された。
なお、九段会館を国に返還したとしても、戦後から今日に至るまでお世話になった会館への全国戦没者遺族の愛着は強く、また歴史的建造物でもあることから、会館の保存を国に要望すること、そして、日本遺族会の特別給付金、平成二十七年の「特別弔慰金」の継続・増額などの遺族処遇改善運動等、多くの課題が残されていること、また、遺児による慰霊友好親善事業や遺骨収集事業も引き続き継続して事業を推進しなければならぬため、会を存続することが決定された。

存続や九段会館の廃業に伴う種々の諸問題については、特別委員会(今後行くこととなった)の遺族会を考える特別委員会を設置し検討して行くこととなった。

九段会館閉館のお知らせ



4月12日に閉館が決まった九段会館

衆参国会議員130人が参拝 靖國神社春季例大祭



昇殿参拝する衆参国会議員 (4月22日：靖國神社)

超党派の国会議員で構成する「みんなが靖國神社に参拝する国会議員の会(会長・瓦力元防衛庁長官)」は、靖國神社春季例大祭の期間中である四月二十二日の早朝、衆参両院国会議員百二十二人

各都道府県遺族会会長 殿

平成二十三年四月

昭和三十三年の創業以来今日まで、全国のご遺族の皆様方に一方ならぬ御厚情を賜りながら、九段会館が廃業のやむなきに至りましたことは誠に残念でなりません。長きに亘り九段会館に数々のご支援、ご尽力を賜りましたこと、ここに厚く御礼申し上げますとともに、皆様方の今後のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

財団法人 日本遺族会
会長 古賀 誠

が参拝したが、菅直人総理をはじめ閣僚の参拝は昨年が続いて行われなかった。二十一日午前に参拝した谷垣自民党総裁は、記者会見で「国のために犠牲となられた方を慰霊することは必要だ。そういう気持ちで参らせていただいた」と語った。

靖國神社春季例大祭期間中の四月二十二日に参拝された衆参両院議員及び別途参拝の議員は次のとおり。
(党派別・敬称略)

議員本人参拝

衆議院 43人

- 【自民党】逢沢一郎、秋葉賢也、麻生太郎、安倍晋三、井上信治、今津寛、今村雅弘、大島理森、梶山弘志、加藤勝信、北村茂男、古賀誠、後藤田正純、高市早苗、竹下亘、武部勤、竹本直一、谷垣禎一、田村憲久、西野陽一、西村康稔、馳浩、浜田靖一、古川禎久、古屋圭司、保利耕輔、森英介、森山裕、山口俊一、山本有二
- 【民主党】網屋信介、大西孝典、高野守、中後淳、長尾敬、中根康浩、萩原

- 仁、福島伸享、向山好一、鷲尾英一郎、渡辺義彦
- 【たちあがれ日本】平沼赇夫

- 【無所属】衛藤征士郎
- 参議院 20人

- 【自民党】有村治子、石井みどり、磯崎仁彦、岩城光英、衛藤晟一、小坂憲次、佐藤正久、塚田一郎、浜田和幸、牧野たかお、水落敏栄、三原じゅんこ、山谷えり子、山本順三、吉田博美
- 【民主党】外山斎、羽田雄一郎、前田武志
- 【みんなの党】江口克彦
- 【たちあがれ日本】藤井孝男
- 【国民新党】森田高
- 【無所属】大江康弘、尾辻秀久

議員代理参拝

衆議院 44人

- 【自民党】赤澤亮正、阿部俊子、甘利明、石破茂、稲田朋美、伊吹文明、江渡聡徳、江藤拓、遠藤利明、小里泰弘、金子一義、金田勝年、木村太郎、小池百合子、佐田玄一郎、塩崎恭久、塩谷立、新藤義孝、高木毅、武田良太、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、田野瀬良太、徳

絶筆

海軍大尉 確本 守命

昭和二十年五月四日
南西諸島方面にて戦死
滋賀県大津市下平蔵町出身 二十五歳

拝啓、長い間御無沙汰許(ばか)り致し、誠に申し訳ありません。皆々様、何時も御元氣の由、慶賀に堪へません。私も元氣です。

愈々出撃です。長い二十五年、本当に有難う御座居ました。私は悠久の大義に生きて生きてきます。

私の今まで詫間に於ける状況は、私の教へた練習生が、今度大津空へ行きましたから、その練習生から聞いて下さい。

では、皆様いついまでも元氣にやして下さい。父上、母上、幸子、智、榮子、千ちゃん、皆さようなら。

皆々様 荷物の方も行李(こうり)だけは後から送ります。トランクは練習生が外出の時、家まで持って来て呉れます。練習生が遊びに来た時は、可愛がってやって下さい。

この練習生は、練習機で離着水だけやって後、取止めになったのです。残念ですが致し方ありません。

師範学校の方にも宜敷(よろしく)。

川瀬、猪飼の小母さんにも宜敷。

【平成二十三年五月 靖國神社社頭掲示】
(原文のまま)

- 田毅、中川秀直、中谷元、二階俊博、額賀福志郎、野田聖子、平井卓也、福井照、松本純、三ツ矢憲生、村上誠一郎、望月義夫、茂木敏充、森喜朗、山本公一、山本拓
- 【自民党】青木一彦、石井浩郎、上野通子、大家敏志、岡田広、金子原二郎、岸信夫、関口昌一、谷川秀善、中曾根弘文、中西
- 【新党改革】浅野貴博
- 参議院 20人
- 【自民党】林芳正、松村龍二、松山政司、山崎正昭、本一太、若林健太
- 【たちあがれ日本】片山虎之助、中山恭子
- 【新党改革】荒井広幸

遺児による慰霊友好親善事業 「洋上慰霊」

二十周年記念

追悼のことば

倉敷市水江

土倉 和直

この度、日本政府、日本遺族会、その他多くの方々のご好意により、お父さんの戦死した海域・九州南方に来ることができました。

昭和二十年三月二十一日、海軍神雷桜花特別攻撃隊で一式陸攻の主操縦者として参戦したと聞いています。しかし、敵艦を発見する前に敵機の攻撃を受けて全滅し、戦死者百三十数名と記録に残



ついでに、非常に悔しく残念だったことと思います。残された家族も辛く悲しい思いをしました。しかし、その時にお父さんが敵艦を発見し、特攻機が敵艦に命中したなら、菊花の搭乗員は勿論のこと、敵とは云え多くの将兵が戦死し、私たちと同じ様に故郷に残された家族が悲しむことを思えば複雑な気持ちです。

お父さんが亡くなった年の八月十五日、日本は戦いに敗れ戦争は終わりました。現在、日本は六

十六年間、戦争もなく平和で豊かな暮らしをしています。お父さんの操縦する飛行機を製作していた水島の工場も、敵機の攻撃を受け焼失しました。その後再建され、現在は自動車を製作しています。周辺の海は埋め立てられ、化学工場や製鉄所ができ日本有数のコンビナートになっています。

お父さんが戦死した二カ月前に生まれた私は、今年六十六歳になりました。小学校六年生の時、株式会社クラレからいただいたビニロンの学生服を着て靖國神社に参拝しました。立派な神社で、こんな場所にお父さんがお祀りされているのかと思うと誇らしい気持ちになりました。

二歳まで母の実家で生活し、その後、色々事情があつてお父さんの生まれ育った家で、武夫伯父さんに育てて頂きました。その伯父さんも、私が小学校四年の時、病気で亡くなりました。しかし、病院に支払う

お金が無く、家族で大切に育てていた牛を売りに出しました。牛買が受け取りに来た時、牛が悲しい泣き声を出し、なかなか門から出ようとしませんでした。門を出てからも家の方を振り返り、悲しい目をしていったのを鮮明に覚えています。

その後、サカエ伯母さんと従兄弟三人と私で、先祖からの田畑を耕し、国からいただいたお父さんの恩給で生活し土倉家を守ってきました。叔母さんは、朝早くから夜暗くなるまで田畑で働く元

気な人でしたが八十二歳で亡くなりました。お父さんが農業をしていた水江の村も、今は宅地となり米を作る人がいなくなりました。私も池の上の田を埋め、家を建てて息子夫婦と孫二人と一緒に暮らしています。娘も近くに住んでいるので、孫二人を連れて時々遊びに来ます。みんな元気で過ごしていますのでご安心下さい。今日はお父さんの好きだった酒を持参しましたので召し上がってください。最後になりましたが、



岡山県から参加された皆さん。左から井上さん、故引さん、笠原さん、土倉さん(ふじ丸のデッキにて)

「あとがき」 この度、戦没者遺児による洋上慰霊友好親善訪問団に参加させていただきました。当日はあいにくの雨天でしたが、六階後部デッキにおいて慰霊祭を執り行っていたいただき、故郷から持参した米、水を菊花と共に群青色の深

海に眠る父に手向け、父と酒を酌み交わすことができました。



洋上慰霊で使用された船舶「ふじ丸」

また、沖縄では那覇市の泊港に入港。港からバスで沖縄南端の摩文仁に建立されている、岡山の塔に赴き参拝。更にフィリピンでは、マニラ市内の産婦人科病院を訪問しました。先の戦争で多くの人々に多大な犠牲を強いることとなったフィリピンでしたが、参加者が持ち寄った衣類、タオル、文房具などを贈り大変喜ばれました。院内で多くの赤ちゃんと

お父さんの好きだった酒を召し上がってください。最後になりましたが、

この戦争で亡くなられた皆様方のご冥福をお祈り申し上げます。この様な戦争が二度と起こらないことを祈ります。

また、沖縄では那覇市の泊港に入港。港からバスで沖縄南端の摩文仁に建立されている、岡山の塔に赴き参拝。更にフィリピンでは、マニラ市内の産婦人科病院を訪問しました。先の戦争で多くの人々に多大な犠牲を強いることとなったフィリピンでしたが、参加者が持ち寄った衣類、タオル、文房具などを贈り大変喜ばれました。院内で多くの赤ちゃんと

今回の洋上慰霊には全国各地から三百四十八名という大勢の方々が参加されましたが、岡山県からは私のほか、倉敷市玉島から井上正平さん、岡山市から笠原英子さん、故引静恵さんの計四名が参加いたしました。それぞれロンボック海峡、徳之島沖合、パナイ島西方の洋上に於いて父上を亡くされています。

皆さん、父の慰霊追悼と友好親善を目的に一致結束し、三月十六日、無事、神戸港に帰港しました。

春季戦没者慰霊行事 新緑薫る護國神社で厳修



式典終了後、岡山県を代表し挨拶する古矢博通副知事
(5月5日：県護國神社)

岡山市中区奥市の岡山県護國神社には、明治から先の大戦にわたり尊い命を国に捧げられた岡山県出身戦没者五万六千七百十四柱の御霊がお祀りされているが、去る五月五日・六日の両日、恒例の春季慰霊行事が新緑薫る県護國神社で執り行われ、県下各地から戦没者ご遺族・一般参拝者ら約三千人が参列した。

五日には岡山県戦没者顕彰会(会長・岡崎豊県議会議員)主催により県戦没者慰霊祭が執り行われ、古矢博通岡山県副知事をはじめ各界代表が祈前に玉串を捧げ、国難に殉じたご英霊に感謝の誠を捧げると共に、三月十一日に発生した東日本大震災の犠牲者の冥福をお祈りした。

また、翌六日には県護國神社慰霊大祭が執り行われ、終日、大勢の参拝者で賑わった。早朝から参拝者案内・交通整理等にご奉仕をいただきました関係者の方々に改めてお礼申し上げますと共に、ご列席を賜りました各界代表の皆様には、今後ともご英霊の顕彰にご理解とご支援を賜ります様、重ねてお願い申し上げます。

また、県遺族連盟では、両日の慰霊式典にあわせて東日本大震災被災者義援の募金運動を行い、参拝者から金十二万六千六百十三円の温かい浄財が寄せられた。

このたびの慰霊行事にご参列をいただいた各界代表の方々には次のとおり(順不同・敬称略)

- 岡山県副知事 古矢 博通
- 岡山県議会議長 岡崎 豊
- 国会議員 逢沢 一郎(代理) 村田 吉隆(代理)

- 加藤 勝信(代理)
- 阿部 俊子(代理)
- 平沼 赳夫(代理)
- 津村 啓介
- 柚木 道義
- 片山虎之助
- 橋本 岳(前)
- 岡山県議会議員
- 戸室 敦雄
- 千田 博通
- 天野 学
- 河本 勉
- 渡辺 英気
- 岸本 清美
- 伊藤 文夫
- 佐藤 真治
- 波多 洋治
- 神宝 謙一
- 蜂谷 弘美
- 遠藤 康洋
- 浅野 實
- 小林 健伸
- 太田 正孝
- 中塚 周一
- 小林 義明
- 市町村長
- 大森 直徳(和気町長)
- 山野 通彦(矢掛町長)
- 市町村議会議員
- 二嶋 宣人(岡山市)
- 川本浩一郎(岡山市)
- 松島 重綱(〃)
- 和氣 健(〃)
- 三谷 實(高梁市)
- 岡山県神社庁副庁長 河本 貞紀
- 岡山県神社総代会会長 松田 堯
- 岡山県偕行会会長 高原 忠敏
- 自民党第二選挙区支部長 山下 貴司
- 自民党ふるさと振興支部長 山田 美香

特別弔慰金の請求は お済みでしょうか？

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金(第九回)の請求手続きはお済みでしょうか。

現在、請求手続き(受給申請)が行われている第九回特別弔慰金は、平成17年4月1日から同21年3月31日までの間に、公務扶助料や遺族年金などを受け取ったことなどにより、平成21年4月1日の時点で前述の年金受給者がいない場合、残された遺族お一人に支給されるもので、額面24万円、六年償還(年4万円)の国債が支給されます。

この特別弔慰金の請求手続きは、ご遺族が現在お住まいの市区町村役場の援護担当課で行っていますが、請求期限が平成24年4月2日までとなっておりますので、この日を過ぎますと時効により受給権利が消滅しますのでご注意ください。

なお、受給要件等(支給を受ける方の順位などが決められています)の詳細のお問い合わせは、県保健福祉課援護班(☎〇八六一二二六一七三二〇)又は市区町村役場援護担当課まで。

遺族会の動き

- ### 平成二十三年五月行事表
- 3日 比島観音恒例祭典(最上稲荷山・妙教寺)
 - 5日 岡山県戦没者春季慰霊祭(県護國神社)
 - 6日 岡山県護國神社春季慰霊大祭(県護國神社)
 - 7日 岡山市西大寺遺族連合会女性部総会(玉野市内)
 - 9日 久米郡美咲町旭地区江与味戦没者慰霊祭(県護國神社)
 - 9日 美作市英田支部戦没者慰霊祭(県護國神社)
 - 9日 第二回日遺特別委員会(九段会館)
 - 12日 県護國神社崇敬者大総代総代会合同臨時総会いさお会館
 - 12日 津山市遺族連合会総会(津山総合福祉会館)
 - 13日 和気郡遺族連合会役員総会(和気交通公園研修室)
 - 15日 総社市遺族連合会役員総会(総社市総合福祉C)
 - 16日 倉敷市倉敷遺族連合会総会(倉敷市市役所)
 - 17日 笠岡市遺族連合会定期総会(笠岡市老人福祉C)
 - 17日 新見市上市地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
 - 17日 井原市戦没者追悼式(井原市民会館)
 - 17日 高梁市高梁地区戦没者追悼式(高梁総合福祉C)
 - 20日 第三回日遺特別委員会(九段会館)
 - 22日 倉敷市児島遺族連合会総会(児島文化C)
 - 25日 備前市遺族連合会総会(備前市役所大会議室)
 - 26日 日遺理事会・評議員会(九段会館)
 - 27日 日遺政理事會・総会(九段会館)
 - 27日 瀬戸内市遺族連合会役員会(牛窓町公民館)
 - 30日 真庭市遺族連合会総会(勝山保健福祉C)
 - 30日 日遺支部事務局局長会議(九段会館)
 - 30日 日遺支部事務局職員共済会理事會・評議員会合同会議(九段会館)
 - 31日 日遺政都道府県本部事務局局長会議(九段会館)
 - 31日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拜礼式(千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
 - 31日 美作地域戦没者招魂祭(津山雇用労働C)
 - 31日 久米郡久米南町戦没者慰霊祭(県護國神社)
- ### 平成二十三年六月行事表
- 2日 浅口市郡遺族連合会評議員会(鴨方町内)
 - 2日 小田郡矢掛町戦没者追悼式(矢掛町農村環境改善C)
 - 5日 玉野市遺族連合会総会(玉野総合福祉C)
 - 5日 加賀郡遺族連合会総会(吉備中央町福祉C)
 - 10日 真庭市久世支部戦没者慰霊祭(県護國神社)
 - 17日 沖繩平和祈願慰霊大行進(沖繩県)
 - 23日 県連盟正副会長・常任理事合同会議(県連盟会議室)
 - 25日